

# 令和4年度全国なぎなた指導者研修会



防具装着者に対して打ち返し体験

令和4年度全国なぎなた指導者研修会（主催＝日本武道館、全日本なぎなた連盟、後援＝スポーツ庁）が11月25日～27日の3日間、日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）にて参加者40名が集まり実施された。

本研修会は、全国でなぎなたを指導する中学、高等学校の教員及び社会体育指導者を対象に、我が国の伝統と文化に立脚した理論と実技の研修会を実施し、「なぎなた」の理解を深め、専門的な知識・技術・指導法の充実を図り、もって全国的な、なぎなた指導者の養成と資質向上に寄与することを目的として行われた。

## ◆1日目（11月25日）

はじめに開講式を行い、<sup>いまうらちのぶ</sup>今浦千信全日本なぎなた連盟常務理事が、挨拶に立ち、「中学校武道必修化は第2段階に入り、複数種目の実施校を増やすモデル校の選定、また、スポーツ庁においては部活動の地域移



今浦 千信  
全日本なぎなた連盟  
常務理事

行といった取り組みもなされております。このような中で私たち指導者がどのようになぎなたを支え、携わっていくかということを考えながらこの3日間、お互いに学んでいきましょう」と述べた。次に<sup>よしかわひでお</sup>吉川英夫日本武道館



吉川 英夫  
日本武道館理事  
事務局長

理事・事務局長が、「運動が得意な子がいれば苦手な子もいます。そういう子どもたちに武道・なぎなたの魅力をどう伝えるか、なぎなたって面白そうだなと思わせることは、教員の先生や指導者の方たちの工夫次第でいくらでもできると思います。特に中学校では武道を授業の教材として扱います。教材として扱った武道で何を伝えたいか、それを<sup>つか</sup>掴んでいただく研修会にさせていただきたいと思っております」と参加者に呼びかけた。最後に講師を代表して<sup>ますだ</sup>増田桂子講師が、「日頃指導の現場にいる私たちは伝えるということの難しさや、伝わらないということのもどかしさを日々感じているのでは

ないでしょうか。毎年この研修会に参加させていただきますと、同じ悩みを持った仲間が、たくさんいるということに少し安心した気持ちになります。自分だけではないということは、何よりも安心し、次の自信に繋がっていきます。この3日間はなぎなた三昧です。たくさんのごことを十分に吸収してください」と述べた。

開講式終了後、中学校武道必修化指導書DVDの武道編を視聴。その後、A班（中学校武道必修化）とB班（地域なぎなた指導者）に分かれて目的別実技研修を行った。A班では、今浦講師によって、1時間目になぎなたの用具の部位や武道の礼法について学ぶオリエンテーション。2時間目に構えと体さばきと手の内を替えて行う技法の実践、3時間目に連続打ち、4時間目に応じ技、5時間目にペア学習を行い、最後の時間は音楽に合わせてグループで打ち返しの発表会を行うなど、6時間を想定した授業パッケージの紹介があった。参加者はそのうち4時間目の連続打ちまでを1日目に実践した。また、楽しくなぎなたを学ぶための授業案として「声でペア探し」、「継ぎ足鬼ごっこ」といったゲームも紹介された。

一方、B班では、構えの確認、素振り、打ち返しを全員で行った後、3グループに分かれて正しい打ちや構えをどのように子どもたちに指導するか各班で検討した。



B班（地域なぎなた指導者班）

#### ◆2日目（11月26日）

2日目の午前中は1日目に引き続き班別研修を行った。A班では昨日同様授業パッケージの実践を行った。さらに「リズムなぎなた」や「打ち返し選手権」などの発展的な指導内容の

紹介があった。

休憩をはさみ、石井好二郎<sup>いしいいこうじろう</sup>特別講師によって「発育発達期の個人差・格差」と題して講演が行われた。石井講師は、「コーチという単語の由来は『大型四輪』であり、『客を目的地まで運ぶ』という意味である。そのため、スポーツにおけるコーチングは『プレイヤーがなりたいたいと思う自分に近づけるためにサポートすること』と言い換えることができる。より良い指導者がすべきことは、プレイヤー自身が自主的かつ積極的な行動に取り組むための環境づくりと言えるだろう」と述べた。

その後、A班は防具を装着した称号者に対して打ち込みの体験を行い、続けて、称号者から、しかけ応じの指導を受けた。今浦講師は授業の中で評価を行う際は評価基準をあらかじめ生徒に呼びかけておくこと、また、その基準として大きな声などの気合や堂々とした態度。相手と呼吸を合わせ、互いの関係を大事にするという調和などを参加者に示した。

2日目の締めくくりには、中学校武道授業情報提供と題し、中学校武道必修化の沿革やなぎなた連盟の取り組みの説明が行われた。



しかけ応じの指導

#### ◆3日目（11月27日）

最終日はB班運営のもと、しかけ応じの演技会を行い、A班はこれまでの研修の成果を披露した。また、最後には吉井和代<sup>よしいかずよ</sup>講師号令のもと、A班・B班合同で一对多数を行った。

閉講式では中島昭博<sup>なかじまあきひろ</sup>日本武道館普及課長より代表者に修了証が授与され、講師代表として松井亮子<sup>まついりょうこ</sup>講師が講評を行い、今浦講師が主催者挨拶を行い、研修会の全日程を終了した。